2022年度入学者選抜〈学校推薦型選抜（公募制）A日程・11月13日〉【50分】

作文試験問題

学芸学部：子ども教育学科

課題・意見文を書く

問　題

近年、YouTubeなどで手軽に動画を視聴することができるようになり、子どもを対象とした歌だけではなく、様々なジャンルの音楽に子どもたちが触れる機会も多くなりました。そのような中、ある曲の歌詞について、言葉遣いが悪いのではないかということが話題となりました。このことについては、子どもには聴かせたくない、という保護者からの意見もあれば、それを問題視せず、子どもには自由に音楽を聴かせるべきだという意見も出ています。

あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて、どちらの考えを支持するか、**立場を明らかにして**意見文を書きなさい。（どちらを支持したかによって評価に影響はありません）

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条　件

① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。

② 本文は縦書きで、必ず一行25字のマス目に16行以上、28行以内で書くこと。句読点も一字として数える。

③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（75字）以内で書く。

発想材料

・子どもが歌詞を真似して日常生活でも言葉遣いが悪くなる可能性があるので、聴かせるべきではない。

・規制はせず、自由に音楽を聴くことで、豊かな感性が育まれるので、積極的に聴かせるべきだ。

・歌詞を真似したことで、友人とトラブルになる可能性があるため、聴かせるべきではない。

・音楽の本質は、聴く人が判断すべきなので、子どもにも聴く機会を与えるのはよいことである。

・ある一定の年齢までは、子どもを対象とした歌のみを聴いた方が、教育的観点からもよい。

・流行している音楽を聴かないことで、友人との会話についていけず、孤立する可能性もあるため、制限すべきではない。

2022年度入学者選抜〈学校推薦型選抜（公募制）B日程・12月11日〉【50分】

作文試験問題

学芸学部：子ども教育学科

課題・意見文を書く

問　題

令和2年、ある県の県議会で「ネット・ゲーム依存症対策条例」が可決、成立しました。これは全国で初めて子どものネット使用やゲームの時間を規制する条例として話題になりました。たとえば、コンピュータゲームは1日60分（学校の休業日等は90分）まで、スマートフォンの使用は義務教育修了前の子どもについては午後9時まで、などとなっています。この条例を制定する理由について、その条例の序文では「インターネットやコンピュータゲームの過剰な利用は子どもの学力や体力の低下のみならず引きこもりや睡眠障害、視力障害などの身体的な問題を引き起こすことが指摘されている」とし、「子どもたちをはじめ県民をネット・ゲーム依存症から守るための対策を総合的に推進するため」と述べられています。

このことに関し、公的な機関がこのくらい規制しないと子どもたちの健康が守れないのではないかという考えと、ここまで規制するのは個人の権利に介入しすぎではないか、という考え方があります。

あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて、どちらの考えを支持するか、**立場を明らかにして**意見文を書きなさい。（どちらを支持したかによって評価に影響はありません）

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条　件

① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。

② 本文は縦書きで、必ず一行25字のマス目に16行以上、28行以内で書くこと。句読点も一字として数える。

③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（75字）以内で書く。

発想材料

・この条例には罰則はないものの、スマートフォンなどの使用は個人の権利であり、それに行政などが制限を加えるのは認められないのではないか。

・ネットやゲームにのめり込み過ぎ、依存している状況は健康面でも精神面でも良くない。適度な扱い方を見直すためにも行政が介入した方がよい。

・ネット・ゲームの利用はＩＴ社会とは切っても切り離せない。若い世代のＩＴ人材養成も期待されている昨今、子どもからそれを遠ざけることはＩＴに対する興味を失うことにもなり逆効果である。

・家庭では保護者の言うことを聞かない場合も多い。学校や行政が一定の目安を決めてくれた方が助かるという保護者もいる。

・家庭での生活時間は保護者が指導すべきである。行政などが口を出すことなく、保護者が子どもと約束をし、守らせるべきだ。

・条例序文にもあるように、とくにオンラインゲームは終わりがなく、大人よりも理性を司る脳の働きが弱い子どもが依存症になると抜け出すのが困難であるため、このような規制もやむを得ない。